

令和5年度 シラバス 【芸術】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材		
音楽Ⅰ	2	1学年	17教育出版 音Ⅰ701 音楽ⅠTutti+	なし		
<p>◇科目の概要と目標</p> <p>1 音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に親しみ、感性を高める。</p> <p>2 我が国や諸外国の音楽、音楽文化について知識、理解を深め、多様な表現を味わうことができる。</p> <p>3 表現したいイメージをもって曲の意味や背景と音楽を形づくっている要素を関連させながら演奏することができる。</p> <p>4 音楽表現をするために必要な専門知識や演奏技能を身に付ける。</p> <p>5 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>						
◇科目の観点別評価の目標						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
曲想や音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。		音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。		主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。		
月	4月	5月		6月	7月	
科目名	単元	単元	中間考査	単元	単元	期末考査
音楽Ⅰ	器楽・鑑賞 「Jupiter」「フレールジャック」 「空と大地」	歌唱「夏の思い出」 歌唱・鑑賞「野ばら」		「楽典」	鑑賞 「魔笛」「オペラ座の怪人」 歌唱 「闘牛士の歌」（オペラ「カルメン」から）	
知識・技能	曲の特徴を感じ取ってよさや美しさを味わいながら鑑賞したり、基礎的なリコーダーの奏法を身に付けて演奏したりできているか評価する。	歌詞の意味や背景を理解して歌ったり鑑賞したりすることができているか評価する。		音楽の基礎知識を理解することができているか評価する。	オペラやミュージカルの多様な表現を味わいながら、興味をもって鑑賞したり歌ったりできているか評価する。	
思考・判断・表現	どのように演奏したいかイメージもち、練習に取り組んでいるか評価する。	曲に合った言葉の発音、身体の使い方ができているか評価する。		音楽の専門的な知識を身に付ける学習を通して、音楽的な見方・考え方を養うことができたか評価する。	音楽と様々な芸術との結びつきに興味、関心をもって鑑賞することができているか評価する。 曲種に応じた発声や、身体の使い方ができているか評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。		ワークシートや小テストを評価の参考にする。	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	
月	7月	9月	10月		11月	12月
科目名	単元	単元	中間考査	単元	単元	期末考査
音楽Ⅰ	歌唱 ヴォイスアンサンブル 「サザエさん一家」 「切手のないおくりもの」	音楽史 「古代ギリシャ～現代」		器楽 トーンチャイム	鑑賞 「アジアのさまざまな音楽」 「世界のさまざまな音楽の魅力」	
知識・技能	パートの役割を意識しながら、声の重なりや響きの豊かさを感じ取ることができているか評価する。	西洋音楽の特徴をつかみ、各時代の作曲家について理解し、多様な音楽の美しさを味わうことができる。		トーンチャイムの特徴や演奏方法について理解し、楽しみながら器楽アンサンブルに取り組むことができているか評価する。	世界の様々な伝統音楽に触れ、文化の多様性を理解して鑑賞できているか評価する。	
思考・判断・表現	曲の特徴を感じ取りながらハーモニーや強弱、リズムについて話し合いをしたり、考えたりすることができているか評価する。	多様な音楽的価値について考え、音楽の歴史について深く理解することができたか評価する。		旋律の動きと自分の役割の関連について考え、音色の響きを感じ取りながら演奏することができているか評価する。	多様な音楽的価値について考え、我が国や諸外国の音楽や音楽文化の違い、よさや美しさを味わうことができたか評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートや小テストを評価の参考にする。		練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートを評価の参考にする。	
月	12月	1月	2月		3月 年間	
科目名	単元	単元	単元	学年末考査	総合評価	
音楽Ⅰ	創作 「イメージに合わせた音楽づくり」	器楽・鑑賞 「箏」	鑑賞 「歌舞伎 勳進帳」 「歌舞伎 京鹿子娘道成寺」 「文楽 国性爺合戦」			
知識・技能	イメージをもって場面に合わせた音楽を作ることができたか評価する。	曲の特徴を感じ取ってよさや美しさを味わいながら鑑賞したり、基礎的な箏の奏法を身に付けて演奏したりできているか評価する。	日本の伝統芸能がもつ多様な表現を味わいながら、興味をもって鑑賞することができたか評価する。		様々な音楽や音楽芸術に対する興味、関心もち、主体的に表現活動や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	
思考・判断・表現	表現したいイメージをもち、音の重なり、つながり、リズム、強弱の変化についてグループで考え、意欲的に創作活動に取り組めたか評価する。	箏の特徴と音楽を形づくっている要素との関連性について考えながら、演奏に取り組むことができているか評価する。	物語と音楽の関わりについて考えながら、歌舞伎や文楽のよさや美しさを味わうことができたか評価する。		音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感受しながら自己やグループでの音楽表現について考え、工夫をすることができる。 曲に応じた身体の使い方、奏法、創作の技能を身に付け、それを生かして表現することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートを評価の参考にする。		音楽に関する諸活動を通して、音楽や音楽芸術がもつよさや美しさを味わい、興味関心を高めながら自分自身の言葉で伝えることができる。	